

# 千葉県農林水産業振興計画【概要】

## 計画策定の基本的な考え方

### 1 計画策定の趣旨

近年、国内人口の減少や物価高騰、地球温暖化の進行、世界の食料需給の変動など、農林水産業を取り巻く様々な情勢の変化を踏まえた持続可能な農林水産業の振興が求められており、国では、これらの情勢の変化を踏まえ、食料・農業・農村基本法が見直され、令和6年に改正法が成立しました。

本県は、温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件や農林漁業者の高い技術に支えられた全国屈指の農林水産県です。本県においても、国の政策動向を注視しつつ、実効性のある振興施策の実施により、農林漁業者の所得向上と農山漁村の活性化を図ることを目的として、新たな農林水産業振興計画を策定します。

### 2 計画の性格

本計画は、千葉県総合計画を上位計画とし、本県農林水産業における10年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けた具体的な取組を定めます。

### 3 計画期間

令和8年度から令和11年度まで（4年間）

## 本県農林水産業をめぐる情勢

- 農林漁業者の減少
- 耕地面積の減少
- 生産コストの上昇
- 環境変動(温暖化等)
- 食料安全保障の確保
- 消費行動の変化
- スマート技術の進展
- 成田空港の拡張事業
- 広域道路ネットワークの充実

### 〔この先10年を見据えた中での課題〕

- ① 農林漁業者が減少する中においても産業としての機能を維持・発展させるための体制構築
- ② 農山漁村の活性化を図るため、地域の農林水産業に多様な人材が関わる機会の創出や地域資源の活用による地域ぐるみでの取組推進
- ③ 温暖化の進行や頻発する大規模自然災害、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜疾病など、農林水産業の持続性を脅かすリスクへの対応

## 基本方針

### 1 目指す姿

千葉県総合計画では、「～千葉の未来をともに創る～ 県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現」を基本理念に掲げ、おおむね10年後を見据えて本県が目指す姿を示しています。本計画では、この目指す姿の実現に向け各種施策を展開し、農林漁業者の所得向上を図ります。

### 2 基本目標 **稼げる農林水産業の実現と農山漁村の活性化**

### 3 構成のポイント

- ① 農林水産業を維持・発展させるための「ひとづくり」「ものづくり」を重点化
- ② 地域資源をフル活用した**農山漁村の活性化**の推進
- ③ 頻発する災害や家畜伝染病等への危機管理体制の更なる強化

### 4 数値目標

目標項目	現状値	目標値
農業産出額	4,079億円 (R4-6平均)	4,200億円(R11)
県内漁港水揚金額	450億円 (R2-4平均)	450億円(R11)
農業・漁業生産関連事業の年間販売金額	790億円 (R元-5平均)	860億円(R11)
農業経営体当たりの生産農業所得	401万円 (R2-6平均)	520万円(R11)
漁業経営体当たりの漁業所得	514万円 (R元-5平均)	540万円(R11)

## 基本施策（主な取組）

### I 次世代を担う人材の確保・育成

- ◆ 農林水産業所得の向上と労働力の確保に向け、生産者の経営管理能力の向上等を支援し、千葉県農林水産業をけん引する経営体を育成
- ◆ 新規就農者・林業就業者・漁業就業者の確保から定着までの体系的な支援や企業による農林水産業への参入を促進
- ◆ 地域農業を支える集落営農組織の育成や中小規模農家の経営支援

### II 農林水産業の成長力の強化

- ◆ 革新的な技術導入やそれに対応した基盤整備の推進等によるスマート農林水産業の加速化
- ◆ 共同利用施設の整備等による産地の生産流通体制の充実・強化
- ◆ ほ場の大区画化・団地化等による生産性向上と農業用排水施設の機能保全対策による持続的な農業の実現
- ◆ 「地域計画」に基づく担い手への農地の集積・集約化と、農地の有効利用に向けた荒廃農地対策
- ◆ 県産飼料の安定確保や高能力な家畜の導入、作業の外部化等による畜産経営の体質強化
- ◆ 持続的な水産業に向けた水産資源管理の着実な実施や流通機能の強化による価格形成力の向上、漁港施設の整備・長寿命化などの取組を推進
- ◆ 農林水産物の安全と消費者の信頼を確保するための取組を推進
- ◆ 有機農業や藻場の保全など環境負荷低減の取組や耕畜連携による資源循環型農業、環境変動に適應する取組を推進
- ◆ 森林整備の促進や森林環境譲与税の活用による森林資源の循環を推進
- ◆ 農林水産業の成長産業化を目指した試験研究を推進

### III 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進

- ◆ 市場動向を捉えた産地体制の強化
- ◆ 「千葉県の顔」となる品目を核としたブランディング強化と多様な販売チャネルの開拓
- ◆ 県オリジナル品種をはじめとした特徴ある製品の認知度向上や料理を通じた県産農林水産物の魅力発信を展開
- ◆ 地産地消や食育の推進、地域資源を活用した商品開発や販路開拓を支援
- ◆ 輸出に係る生産・流通・販売の各段階における支援、成田市場・成田空港を活用した県産農林水産物の輸出促進

### IV 地域の特色を生かした農山漁村の活性化

- ◆ 都市と農山漁村の交流促進により関係人口の拡大を図り、農山漁村を支える活力の創出を促進
- ◆ 農山漁村がもつ多面的機能を維持・発揮するための体制を強化
- ◆ 関係者が一体となった有害鳥獣対策の展開と「房総ジビエ」の普及・利用拡大
- ◆ 海業の推進等、地域資源（もの・ひと）を活用した所得向上等と地域の活性化

### V 災害等への危機管理の強化

- ◆ セーフティネットの加入促進や事業継続計画(BCP)の策定推進により経営リスクを軽減
- ◆ 飼養衛生管理基準の遵守徹底等による家畜防疫体制や、発生予防と効果的な防除による病害虫・雑草対策の強化
- ◆ 農林水産業関連施設・インフラや森林の整備、農山漁村の防災・減災対策による自然災害リスクへの対応
- ◆ 災害発生時に迅速な対応を行うための危機管理体制の強化

## 部門別戦略

基本目標の達成に向け、4年間の計画期間内に効果的かつ集中的に展開する施策を、園芸、農産、畜産、森林・林業、水産の5部門において「戦略」として打ち出し、着実な推進を図ります。

稼げる農林水産業